

郷蔵米通信

2022年6月 郷蔵米生産組合

新緑の季節も急な暑さで、すでに夏の陽気になっています。生産者は田植え、お茶摘み、と忙しい日々を送りようやく6月に入って一息ついたところでしょうか。今年の苗はおおむね順調に育ち、田んぼにきれいに植えられました。合鴨を使った除草を行っている生産者は、これから田んぼの周りをネットで囲い、空から合鴨を狙うカラス対策には防鳥糸を張り、それから放鳥、と作業が続いていきます。合鴨を使わない生産者は、除草機を入れたり、チェーンを引いて除草を行う作業などをします。これからは草との戦いです。



■ 田んぼの草取り作業のお知らせ

この2年、新型コロナウイルスの影響でイベントを中止としていましたが、コロナによる規制も少しずつですが緩和されてきたこともありますので、郷蔵米生産組合としても、何らかの形で以前のようにイベントが出来ないかと考えていました。そこで今回は除草作業のお手伝いを募集し、その作業を通して、お米作りや、里山の自然を感じて頂ければと思っています。

これからの季節、田んぼには、オモダカ・コナギ・セリ・ホタルイ・セリ等々、多くの雑草が生えてきます。特にオモダカは地下茎で球を付けて翌年発芽する、という厄介な雑草で、年々増えているほどです。合鴨農法の田んぼはたいへんキレイですが、すべての生産者が行っているわけではありません。そんな田んぼに入って、作業のお手伝いをして頂ける方を募集します。詳細は下記をご確認ください。



実施期間：6月15日～7月15日

持ち物：お弁当・お茶・作業着（田んぼに入れる服）

・着替え

（感染予防の為、お弁当・お茶等は提供しません。各自準備のうえ、ご来訪下さい）
作業を希望される方は、実施期間内に『清水唯義』までご連絡ください。

TEL：0574-76-2229 FAX：0574-76-2341

先月号の補足

今年の目標 笹俣惇・ゆかり（笹俣昭明さんの後継者）

分からない事が多いですが、手伝いをしながら覚えていき良いお米を作って行きたいです。今はお茶やブルーベリー・枝豆など野菜づくりも少しずつして育てる楽しさと難しさを感じながら色々な事に挑戦していきたいと思っています。